

# 嬉 望

第 4 号

兵教大 学校経営コース 大学院生編集部

## ●フィールドワークでの学部生の指導を通じて、若手育成のスキルを磨く

5月中旬に、学校経営コースの2年次生が企画して、山口県萩市立明倫小学校の視察を実施しました。学校経営に関する校長講話、公開授業、そして、萩ならではの吉田松陰先生の言葉の朗唱見学です。

このフィールドワークは、学校経営コースの学生だけでなく、教職大学院の他コースの現職教員学生や学部4年生も参加しました。特に、学部生に対しては、学級経営や授業のあり方について指導し、私たちにとっては、若手教員指導の実践演習となりました。写真は、朗唱の様子(左)と、学校経営コースの学生の学部生への事前指導の様子です。(右)

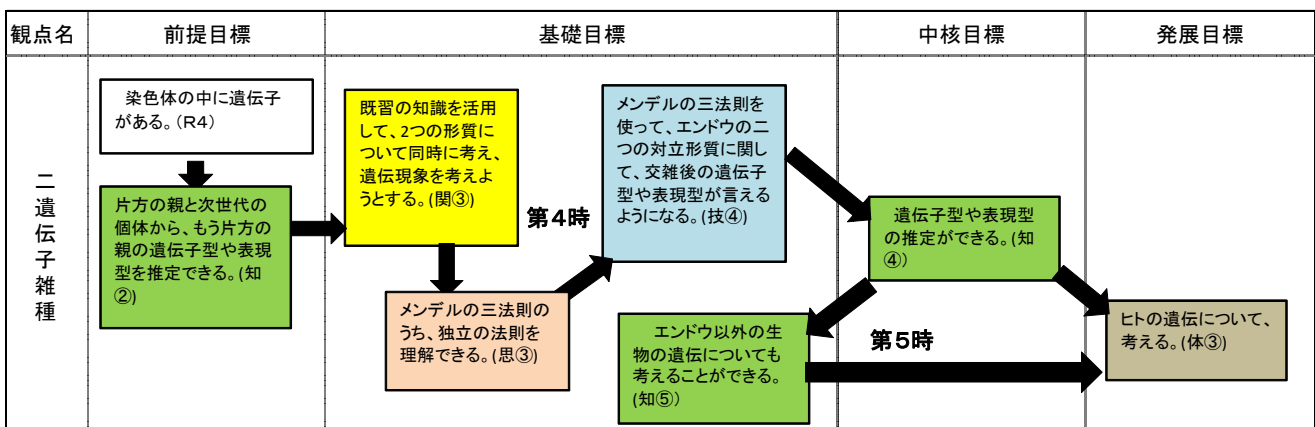


## ●シリーズ 兵庫教育大学教職大学院の授業 ③

### ～授業における評価の基準作成理論と学力評価法習A～(必修共通基礎科目)

兵庫教育大学教職大学院で行われている授業紹介の3回目は、1年次後期に開講されている「授業における評価の基準作成理論と学力評価法A」です。管理職や教育行政職として教員育成の観点や学校の教育力向上の観点などから「授業」に関して指導助言する機会が必ずあります。管理職や教育行政職といえども、「授業」は教育に携わる者として基本中の基本です。教職大学院では「授業」に関するカリキュラムもいくつか用意されており、この科目ではその科目名にあるように評価基準の作成や評価方法についての理論を学びます。また、昨年度の授業では、中央における審議過程などの細かなやりとりを伝聞することもでき、学習指導要領の深い理解につながりました。図は、ある院生がこの授業の演習で作成した高等学校生物の授業の目標構造図の一部です。

### 遺伝の法則の指導順路案A(中堅校の場合)



## ●教職大学院と中央教育審議会 ～教員の資質能力特別部会の審議経過報告から～

去る5月24日(火)に兵庫教育大学において、日向 信和 氏(文部科学省大臣官房教育改革審議官)をお招きして講演を聴く機会がありました。中教審の特別部会における審議経過についての内容でした。たくさんのお話の中からほんの一部ですが、講演を聞いた筆者のメモをもとに紹介いたします。

①教員養成に関して修士レベルのものに高めること ②教員免許制度を基礎免許(仮称)、一般免許(仮称)、専門免許(仮称)の創設 ③初任者研修や10年研修など研修制度 等々が検討されている。

その背景として、民主党政権以前からの教育改革の流れ、「学校教育における課題の複雑・多様化」と「学校現場を取り巻く環境の変化」から「教員の質の充実」が求められていることなどがあげられる。諸外国の教員養成期間も修士レベルが一般的になりつつある。また、校長に対する調査では、新任教員の評価で「児童生徒指導力」「集団指導の力」「学級づくりの力」に低い結果が出ている。これらに対して、「教員は現場で育つもの」という論だけでは、なりゆかない。教員の養成・採用・研修に関して初等中等教育と高等教育の両面から、一体的、総合的に検討しなければならない。

また、**管理職の資質能力は学校改革の推進上重要である**。マネジメント力を身につけた管理職養成のため、**教職大学院等での学校経営を中心とした専攻・コースの充実を図るとともに**、国や都道府県等の教員研修センター等において「マネジメント型」管理職の養成を行うことの検討、修了者には学校経営の「専門免許状」の授与の検討がなされている。

以上のようなことなどが、議論されているそうですが、教職大学院の重要性が増しているということは間違いのないことだと思います。なお、この部会には、本学学校経営コースの堀内孜教授(写真左)と日渡円教授(写真右)が委員として参加しています。リアルタイムに情報が入ることも、兵庫教育大学の教職大学院で学んでいるメリットの一つだと思います。



## ●6月25日(土) 公開授業をおこないます

教職大学院では、6月25日(土)に、三宮研修センターで公開研究会を実施します。午前中は、授業実践コースと心の教育実践コースの修了生によるパネルディスカッション、午後は、小学校教育養成特別コースのポスターセッションと並行して、と学校経営コースが担当する「学校組織マネジメント実践演習」の公開授業です。

受講者は、今年度入学した1年生で、学校経営コース以外の現職学生全員です。担当教員は、浅野教授、廣岡教授、日渡教授で、授業は「学校評価システムの運用」を扱う予定です。学校評価を、学校の改革・改善に活用するための実践的な内容です。是非、ご来場ください。詳しくは、本学HPをご覧ください。左下の写真は昨年度の公開授業の様子です。

